

2. 校長・高校副校長・中学副校長挨拶

<校長 堀江 敏彦>

都立武蔵で3年目を迎えました。昨年度も、生徒たちの「学び」への意欲と真の「底力」に驚かされました。また、音楽祭、文化祭、体育祭と実行委員の生徒が中心となって運営される学校行事は中学と高校の連携がさらに深まり、普段とは異なる生徒たちの輝きを増した「まぶしさ」が印象に残っています。

未来を造りだす生徒を育てるために、「都立武蔵」の伝統をしっかりと継承しながらも、今年度も、A Iの活用などにより授業内容や探究活動を一層充実させ、さらなる発展のために全力を尽くしてまいります。P T Aの皆様方には、本校の教育活動に、今後とも御支援、御協力を賜りますようお願い申し上げます。

<中学副校長 川島 勇行>

武蔵に来て3年目を迎えました。武蔵三大行事や尾瀬サマーキャンプ、模擬国連など地球学関連の行事を一緒に体験し、今年も生徒たちの真面目に取り組む姿に感動した1年となりました。社会の大きな変化のなかで「武蔵」で何をどれだけ吸収し、一人ひとりがどのように成長していくのかとても楽しみであり期待しております。そして「武蔵」という環境を最大限活用できるように尽力していきたいと思っております。保護者の皆様におかれましては、今後とも本校の教育活動への御理解、御協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

<高校副校長 山口 洋樹>

昨年度は、多くの場面をとおして生徒たちの成長を間近かで実感することができ、教員としての喜びを改めて感じた一年となりました。特に武蔵の生徒も教員も授業を大切にしています。生徒たちの鋭い視線で真剣に先生の話聞く姿、グループの仲間と一緒に解決方法を模索する姿、A Iを積極的に使いこなす改善方法を見出す姿など数えきれないほどキラキラした瞬間に出会えました。今年度も、より魅力的な授業や好奇心を湧かせる探究活動を目指し、生徒たちが誇りに思う「武蔵」に向け、全力を尽くしてまいります。P T Aの皆様方には、本校の教育活動に、今後とも変わらぬ御支援、御協力を賜りますようお願い申し上げます。